

令和4年度東京都立あきる野学園学校経営計画報告

都立あきる野学園

校長 市川 裕二

I 今年度の取組目標と方策と結果

1 人権を尊重した教育の充実

人権を尊重した教育を学校経営の第一の柱として、人格を否定する乱暴な態度・ことば、追い込む指導等の不適切な指導の徹底的な排除を行った。また、いじめ防止基本計画に基づく指導の徹底した

2 保護者の方と共に考える教育の充実

個別指導計画を通して外部専門家等のアドバイスやアセスメントから分かったことを保護者に情報提供し、保護者と相談して一人一人の児童生徒の教育方針等を確認することを行った。また、保護者から学年間・学部間・教員間で引継ぎを確実にを行うことについて要望が多かったことから、「引継ぎシート」を活用して、引継ぎの充実を図った。

3 教科学習の充実・障害特性や個に応じた教育の推進

指導部の研究指定を受けて、小学部生活、中高等部理科・社会の授業の充実を図った。来年度の向け年間単元一覧を作成し、各教科で取り上げるべき指導内容の計画的な指導の準備を行った。

外部専門家等のアドバイスやアセスメントを踏まえた障害特性や個に応じた指導を推進した。

4 キャリア教育の推進と地域との連携の充実

学校全体のキャリア教育指導構想図を踏まえたキャリア教育の充実を図り、学部から高等部まですべての児童生徒のキャリアパスポートを作成し、児童生徒の成長の保護者の方と共有した。

5 新しい教育時代への対応（With コロナ）

GIGA スクール構想に基づく一人一台の端末を活用した授業は、各教員が工夫して取り組んだ。今後は組織的な対応を課題である。

コロナ感染症の感染防止を徹底を図りながら、平常に近い宿泊行事・校外学習・学校行事が実施できた。

6 安全・安心な教育環境、施設設備の整備充実と校舎の老朽化への対応

警察・消防と連携したセーフティ教室や多様な避難訓練の実施、医師、療育医療機関、看護師と連携を図り、安全な医療的ケアの実施、アレルギー事故防止の徹底など、教育環境の整備を進めた。

7 体力の向上や文化的活動の活性化に向けた指導の充実

各種障害者スポーツ大会や東京都アートプロジェクト等に参加した。

8 教職員一同がチームとして力を発揮できる組織運営と教員の働き方改革の推進

効率的な予算執行のためのセンター執行率の向上を図った。教員の超過勤務の減少など、教員の仕事や会議を精選し、働き方改革を推進し、教員が子供たちに向き合える時間の確保のため努力した。

II 重点目標と方策(数値目標)と結果

学校評価アンケートの結果

(1) 保護者アンケート

- ・回答率は71.3%(昨年度80.7%)
- ・評価が高かった項目は「人権を尊重」「保護者と共に考える教育」「障害特性や個に応じた教育」「楽しく学校に通っている」「個別指導計画の内容」「指導法」「感染症への取組」「教職員の対応」
- ・「わからない」の数値が高い項目は「キャリア教育」「地域との連携」・回答率は80.7%(昨年度85%)

(2) 児童・生徒アンケート

- ・回収率71.3%(昨年度80.9%)
- ・今年度より「どちらでもない」を「わからない」に変更
- ・昨年度の結果と大きな変化は見られないが、回収率は下がってしまった。

(3) 教職員アンケート

- ・令和4年度の計画と取組について、数値が高かった項目は、①人権を尊重した教育 ②保護者と共に考える教育 ③障害特性や個に応じた教育の取り組み などであった。
- ・令和4年度の計画と取組について、数値が低かった項目は⑥校舎の老築化への対応であった。

項目	内容	数値目標	結果
1 人権尊重教育の推進	人権教育に関する研修会の実施	学期1回以上実施	学期末3回実施
	児童・生徒の人権に配慮した指導の実施	学校評価90%以上 (※1)	93%
	児童・生徒アンケート及び聞き取り調査によるいじめの実態把握	年1回以上	学校評価で実施
2 保護者の方と共に考える教育の充実	個別指導計画の書式の改善による外部専門家やアセスメントの反映	学校評価85%以上 (※2)	95%
	保護者の学校評価アンケートの回収率	85%以上	67.6%
	引継ぎシートの活用と引継ぎ会の実施	学校評価85%以上 (※3)	91%
	企業就労を希望する生徒の企業見学や実習の実施	希望者100%	100%

3 教科学習の充実・障害特性や個に応じた教育の推進	一人教員が一授業の校内公開（授業を見合う会）	100%	100%
	教科学習の充実に関する研究授業の実施（生活・理科・社会）	年間24回以上	180回
	全ての児童生徒に指導に生かすためのアセスメント・チェックリスト等の実施	100%	100%
	障害特性に応じた教育の充実	学校評価85% （※4）	91%
5 キャリア教育の推進と地域との連携の充実	全ての児童生徒に「キャリアパスポート」の作成	100%	100%
	キャリア教育の推進	学校評価85% （※5）	88%
	ホームページの定期的な更新	年間80回以上	52回
6 新しい教育時代への対応（Withコロナ）	感染症対策の徹底	学校評価85% （※6）	92%
	机上の学習機会において、全ての児童生徒が一人1台端末を活用した授業の経験	100%	100%
7 安全・安心な教育環境、施設設備の整備充実と校舎の老朽化への対応	児童生徒の安心な登校	学校評価85% （※7）	93%
	摂食指導、アレルギーに関する研修会の実施	年3回以上	3回
	医療的ケア及び重度・重複障害のある児童生徒に関する研修会	年3回以上	3回
	ヒヤリハット事例を活用した事故防止研修会の開催	年2回以上	2回
8 体力の向上や文化的活動の活性化に向けた指導の充実	障害者スポーツ大会等への参加	2大会以上	3大会
	全国特別支援学校文化連盟文化祭や東京アートプロジェクト等への作品出展	8作品以上	10作品
9 教職員がチームとして力が発揮できる組織運営と教員の働き方改革の推進	本校既定のクリーンデスク達成率の向上	100%	90%
	自律経営推進予算センターの高執行率の維持	50%以上	56.4%

※1 保護者アンケート：「教職員は人権を尊重した指導を行っているか」の項目における良い評価が90%以上

※2 保護者アンケート：「教職員と外部専門員との連携のもと適切な指導が行われているか」「個別指導計画は分かりやすく適切な内容か」の項目における良い評価が85%以上

※3 保護者アンケート：「これまで学習してきた指導方法を踏まえ、一人一人に応じた分かりやすい指導をしているか」「教職員は学部や学年を超えた情報の共有に取組み、学部間、学年間、教員間が連携しているか」の項目における良い評価が85%以上

※4 保護者アンケート「障害特性や個に応じた教育の推進への取組は十分に行われているか」の項目における良い評価が85%以上

※5 保護者アンケート：「キャリア教育の推進への取組は十分に行われているか」の項目における良い評価が85%以上

※6 保護者アンケート：「感染症に対する取組は適切なされているか」の項目における良い評価が85%以上

※7 保護者アンケート：「児童生徒が楽しく学校に通っていると思うか」の項目における良い評価が85%以上

Ⅲ 次年度以降の課題と対応策

1 人権を尊重した教育の充実

指導生徒の人権を尊重した教育は、特別支援学校の最も重要な視点のため、児童・生徒の自己肯定観を育む教育の推進とともに、人格を否定する乱暴な態度・ことば、追い込む指導等の不適切な指導の徹底的な排除、いじめ・虐待防止の取組の充実への対応等を継続する。

2 保護者の方と共に考える教育の充実

保護者からの評価は高いが、今後も継続し、現在のレベルを維持する必要がある。そのため、個別指導計画を通して、外部専門家等のアドバイスやアセスメントからわかったことを保護者の方に情報提供し、保護者の方と一緒に子供たちの指導内容や方法の検討や、保護者との連携・連絡の充実。「引継ぎシート」を活用し、児童・生徒の指導について、学年間・学部間・教員間で引継ぎ、共通理解の充実していく

3 教科学習の充実・障害特性や個に応じた教育の推進

引き続き指導部の研究指定を受ける。生活・理科・社会に加え、すべての教科の年間単元一覧に作成する必要がある。

外部専門家等のアドバイスやアセスメントを踏まえた障害特性や個に応じた指導は、引き続き推進する。

4 キャリア教育の推進と地域との連携の充実

保護者にとって、キャリア教育は、わかりにくいだが、重要な観点のため、理解啓発を進める必要がある。

5 新しい教育時代への対応（With コロナ）

新型コロナウイルスは、2類相当から5類に引き下げられる予定。さらに平常の教育活動の実施に戻していく必要がある。

6 校舎の老朽化への対応

高等部等の増設工事を安全に実施し、令和6年度のからの使用の準備をする必要がある。